

第2学年 道徳科学習指導案

日時 令和元年9月26日(木) 第2校時
指導者 教育センター所員 高取 須賀子

- 1 主題名 人間の強さ・気高さ【内容項目D-(22)よりよく生きる喜び】
- 2 教材名 本当の私(出典「東京書籍」2年)
- 3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人は「誰も見ていなければ」「誰にも気づかれなければ」という思いから、時に誘惑に負け、ついやすきにながれてしまう心の弱さは誰もがもっているものである。しかしながら、良心によって悩み、自己嫌悪に陥ったはずである。人は、周囲の人の目はごまかせても、自分の心はごまかせないと考え、良心に従って胸を張って気高く生きようとする強さももっているのである。

弱さに打ち勝ち、自分に恥じない誇り高い生き方をしようという思いを育むことは大変意義深いことである。

○生徒の実態について

本学級の生徒は、7月に行った道徳的価値の意識調査における「誰にでも心の弱さがあることが分かり、それに負けずに強く生きていこうとしている」という質問に対し、61%が「よくできている」、32%が「だいたいできている」、3%が「あまりできていない」と答えている。できている理由では、「しているから」「自分にもあるから」と漠然としたものが多く、具体例を挙げている生徒は少数であった。また、少数ではあるが、「わからない」「思ったことがない」という生徒がいるので、自分の体験を想起させ、その時の心の中を思い出させることで自分のこととして考え、深めることができると考える。

○教材の活用について

本教材は、幼いころからの夢である金メダル獲得を成し遂げたが、ドーピングの可能性を知り、一旦やめるが、再度手をだしてしまい、真実を打ち明けるに至った理由を考えさせる教材である。

「エイミー」は陸上選手権で金メダル獲得したが、コーチから「サプリメントがドーピングになる可能性がある」との告白を受ける。そこで薬物に頼らないと決意し、練習に臨む。しかしながら、成果は出ず、けがを負ってしまう。そんな時、「A社のものは検査をかいぐれる」という情報が入る。結局、エイミーは、再びドーピングを行い、二種目で金メダル獲得することができたのである。

金メダルを獲得するために一度はやめたはずのドーピングを、検査をかいぐれるという情報から再度利用してしまったエイミーの姿と金メダル獲得後にドーピングを告白し、すべてを返還したエイミーの姿を通して、どうすれば自分に恥じない生き方ができるのか考えを深めることができると考える。人間の弱さとそれを克服する強さの両面を考えさせるという視点で教材を活用したい。

○指導の重点

導入では、身の回りで起こる場面を想起し、弱い自分に負けそうになる自分を見つめさせることで、自分の問題として考えていこうとする意識をもたせたい。展開では、生徒が状況を把握しやすいように教材を読み聞かせた後に挿絵を使って確認をする。その後、何が問題になっているのかを問い、ドーピングを告白したエイミーの姿と告白しなかった場合のエイミーの姿を想像し、起こったことと、その時の感情についてウェビングを用いて自分の考えを表現させる。次に、班で意見交流を行う。自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、話し合わせることで、人間誰もが弱さ、醜さをもっていながらも人として自分に恥じない生き方をしようとしていること、そしてそれを乗り越えようとする気高さもあることに気付かせたい。さらに、終末では、これからの自分について考え、記述させることで、これからの日常生活で意識して生活していきたいという気持ちを高めたい。

4 ねらい

悩みながらも自分の弱さを克服した主人公に共感し、人間には自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする意欲を高める。

5 指導の視点

- ・これまでの経験やそのときの考え方、感じ方を思い出させながら、考えさせることができたか。
- ・多面的・多角的に考え、自己の考えを広げ、深めさせることができたか。
- ・学んだことを生活の中で実現していこうとする思いをもたせることができたか。

6 展開

	学 習 活 動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点 <small>予想される生徒の変化(教師の願い)</small>
導 入	1 日常生活のある場面について考える。	○次のような場合、みなさんはどうしますか。心情円盤で表現してみよう。 [おつりが500円多かった場合] ・正直に言って返す。 ・そのままにしておく。 [間違った答えが○だった場合] ・正直に申し出る。 ・黙っておく。	・身の回りで起こる場面をいくつか想起させた後、それらに対しどのように行動しているか考えさせる。 正直に行動しなければならない気持ちはあっても、言えない心の弱さもあることを感じている。 ・気持ちと行動の違いから、自分の心について考えることを知らせる。
／	心の弱さを克服するために大切なことについて考えよう。		
展 開	2 「本当の私」を聞き、話し合う。 3 エイミーの現在の生き方から思いを考える。 【書く活動①】 【話し合い】 グループ ↓ 全体	○この話で問題になるところは何だろう。 ・ドーピング ・コーチがドーピングを黙っていた ・知っていてA社に行った ○告白した時、エイミーには、どのようなことが起こりましたか。その時、どんな気持ちでしたか。 ○もし、告白していなかったら、どのようなことが起こり、どのような気持ちになっていたと思いますか。 ・告白すると非難を浴びて辛いけど、その時だけで済む。 ・告白していないと、ずっと不安が消えず、苦しさが続く。	・状況をつかみやすいように、挿絵を示し、何が問題になっていたのかをつかませる。 ・起こったことは□、気持ちは○で書かせ、ウェビングさせる。 ・個人で考えた後、グループでの交流を通して追加・修正する場合は、朱書きで書かせる。 ・プラスの感情とマイナスの感情を色ペンで整理させることで視覚的にとらえやすいようにする。 ・それぞれのウェビングから発表させ、全体で確認し、エイミーの姿や思いを共有する。 友達の意見を聞きながら、心の中の自分の姿を深く考えようとしている。
／ 終 末	4 エイミーが大切にしたい心について考える。 5 これからの自分について考える。 【書く活動②】 6 教師の説話を聞く。	○エイミーはどんな心を大事にして行動したのだろうか。 ・正直な心 ・嘘を許さない心 ・偽りのない心 ○今までの自分とこれからの自分について自分の思いを書きましよう。 ・誰にも心の弱さはあると思った。しっかり考えて信頼されるようになりたい。 ・どのような場面でもしっかり判断し正直に行動したい。	・エイミーの心に触れることで、これからの自分自身の行動につながることに気付かせる。 ・心の弱さが見えた時、これからはどうしていきたいかという視点でワークシートに記入させる。 学んだことを意識しながらこれからの生活を送っていきたいという気持ちをもち始めている。